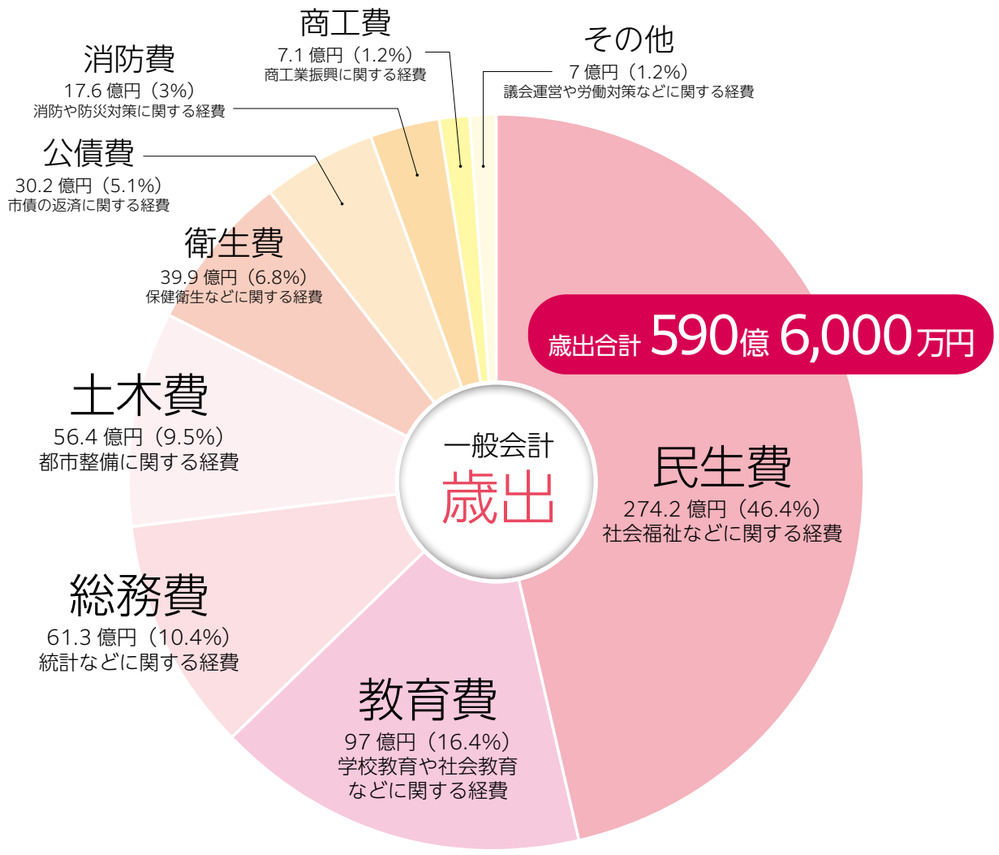
令和5年度
予算決まる

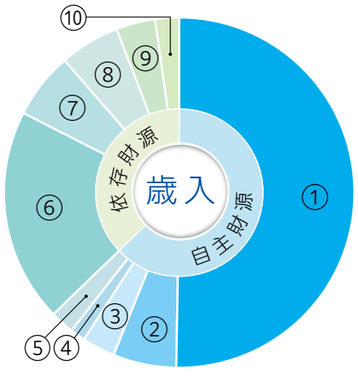
安心、希望、持続可能の実現に向けた予算始まる

２月 20 日から３月 24 日にかけて開かれた３月定例会では、昨年度と比較して4.7%の増となった令和５年度予算案が示され、委員会での審査を経て、慎重審議された結果、全会一致で可決されました。

令和５年度予算のあらまし

		前年度比
一　般　会　計	590億6,000万円	4.7%↑
特別会計・企業会計	327億4,518万円	4.5%↑
令和５年度予算総額	918億　518万円	4.6%↑





歳入合計 590億6000万円

①市税	297.8 億円
②繰入金	34 億円
③諸収入	19.2 億円
④繰越金	7.5 億円
⑤その他自主財源	13.3 億円
⑥国庫支出金	115.5 億円
⑦県支出金	36.9 億円
⑧地方消費税交付金	32.2 億円
⑨市債	22.4 億円
⑩その他依存財源	11.8 億円

※百万円単位は四捨五入

令和５年度の一般会計予算は、昨年度と比較して4.7%の増加となりました。

増加の主な要因としては、市役所本庁舎のスロープ改修工事の他、市内の全小中学校への電子黒板機能付プロジェクタの導入や民間保育所事業に関する予算の増加などが挙げられます。

「子ども応援」「100 年健康」「防災」３大プロジェクトから

令和５年度 注目事業

※千円単位は四捨五入

子ども応援　電子黒板機能付きプロジェクタを導入

児童生徒の学習意欲や理解力の向上などを目指し、全ての教室に電子黒板機能付きプロジェクタを導入します。

6億6,472万円

子ども応援　こども家庭センターを設置

妊産婦やヤングケアラーなどを含め、すべての子育て世帯を支援するため、こども家庭センターを設置します。(福祉保健センター内)

5,224万円

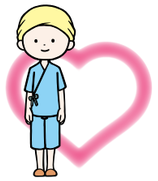
100年健康　歩きたくなる「まちなか」で健康増進

市内３駅周辺を歩きたくなる場所に転換し、賑わいの創出と健康増進を目指す「まちなかウォーカブル※推進事業」を進めます。

2,054万円

100年健康　がん患者への補助金を創設

がん対策推進条例の制定に伴い、外見の変化に伴う苦痛や若年がん患者を支援する２つの補助金を創設します。



1,017万円

防災　中学生防災士を育成

災害時の「共助」の担い手不足解消のため、中学生を対象とする「防災士資格取得支援補助金」を創設します。

320万円

防災　バーチャル浸水体験を導入

浸水被害を疑似体験できる機器を導入し、直感的に災害リスクを理解できる機会を提供します。

285万円

賛成　将来のまちづくりへの希望が感じられる
浅生　和英　議員

予算案からは「3大プロジェクト」をはじめ､市長公約の実現により「コロナ禍を克服し、命と暮らしを守る」という強い決意を感じる他、新規条例や各種計画の策定など、将来の政策推進の屋台骨となる取り組みも見られ、まちづくりに対する明確なビジョンと希望が感じられる。

賛成　決算時には詳細な分析と報告を求める
細田　昌孝　議員

全体としては厳しい状況に対応した予算であり賛成だが、世界情勢の影響などで市民生活が圧迫される中、例年の3倍以上となる戸田橋花火大会、2倍以上となるふるさと祭りに対する補助金･助成金は過大ではと考え、決算における詳細な分析と議会への報告を求める。

賛成　市民要望に十分応えられる予算規模
むとう　葉子　議員

市民要望に十分応えられる予算規模で、平和首長会議国内加盟都市会議総会への初参加をはじめ、障害者雇用の推進、がん対策の補助金創設など、主だった12の施策を評価する。市民医療センターの公的医療機関としての役割発揮と、物価高騰などに対する機敏な対応を要望する。

※まちなかウォーカブル推進事業…まちなかを歩くことを推進し、まちの魅力を発信する取り組み